



大東スチール株式会社

PURSUING EFFECTIVE USE OF LAND

2022年度 環境経営レポート



2023年度 環境活動スローガン
『削減 分別 生かせば資源 未来に繋ぐ好循環』



エコアクション21

認証番号0010704

も く じ

1	組織の概要	P1
2	環境経営指針	P2
3	実施体制	P3
4	環境経営中長期目標	P4
5	環境経営 実績及び評価	P5
6	環境関連法規等の遵守状況確認	P6
7	環境行動計画(取組評価及び今後の課題)	P7~P8
8	環境教育・自然保全活動及び主な活動記録	P9
9	代表者による全体評価と見直し結果	P10

■ 参考ガイドライン
エコアクション21建設業向けガイドライン 2017年版

■ 報告対象期間
2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

■ 作成日
2023年 5月 29日

1. 組織の概要

■事業所名

大東スチール株式会社

■代表者

代表取締役社長 増子 英貴

■許可・認定

鋼構造物工事業
静岡県知事許可(般-3)第31714号
工場認定 性能評価 認定番号 TFBM-214273(Mグレード)



■会社の所在地

名称	所在地	延床面積	備考
本社	〒425-0012 静岡県焼津市浜当目901-1	3,626m ²	
第1置場	〒425-0011 静岡県焼津市小浜字中川原152、153	1,323m ²	認証対象
第2置場	〒425-0012 静岡県焼津市浜当目977、979-1、979-2	2,115m ²	
社員駐車場	〒425-0012 静岡県焼津市浜当目字大谷1146-2、3	987m ²	
所在地合計	-	8,051m ²	7,064m ²

■主たる事業の種類

建築鉄骨の製造・施工、販売、エクステリア製品の調達・販売

■事業規模 (2022年度)

売上高 579,747 万円
総資産 1,791,737 万円(2021年度) 2022年度決算公告(2023年6月)
従業員数 40名(2023年3月31日)

■事業年度

4月1日～翌年3月31日

■認定・登録の対象範囲

活動 全事業活動
対象組織 全組織

■連絡先

環境管理責任者 鈴木 雅紀
事務局担当者 桑原 祐也
連絡先 054-626-2700



2. 環境経営指針

■ 経営理念

鉄骨加工会社としての資源を最大限に活用し、高品質商品を安定提供し、『限りある大地の有効利用を広範囲に創造し、実践して社会に貢献する。』

■ 環境基本指針

私達はすべての事業活動において、省資源、再利用、再資源(3R)に努め、地球環境の保全に全員参加で継続的に取り組みます。

■ 環境行動指針

1. 二酸化炭素排出量の低減

事業活動により使用するエネルギーを低減します。

- ・電力使用量の低減に努めます。
- ・燃料使用量の低減に努めます。

2. 廃棄物排出量の低減

事業活動により排出する廃棄物を低減します。

- ・分別処分によるリデュース・リユース・リサイクルの推進に努めます。
- ・歩留まりのよい経済設計の推進に努めます。
- ・在庫の適正管理による余剰材の低減に努めます。

3. 水使用量の低減

事業活動による水使用量を低減します。

4. 化学物質の適正管理

事業活動で使用する有機溶剤を適正管理します。

- ・労働衛生基準を遵守し、適正な管理下で塗料を使用します。
- ・塗料の散布ロス低減に努めます。

5. 提供製品の環境性能の向上及びサービスの改善

技術、品質、安全、納期、コストを最大限に提供し、供給します。

- ・製造業務において、省エネ・省資源の設計施工を目指します。
- ・新商品、部品の開発にあたり、製品の安全性・精度・価格・作業性の性能向上に努めます。

6. 環境教育

人とのつながりを大切にし、地域に根付く企業を目指します。

- ・環境活動を通じ、近隣住民及びステークホルダーとのコミュニケーションを図ります。

7. 法令遵守

事業活動において、環境関係法令を遵守し、環境保全に努めます。

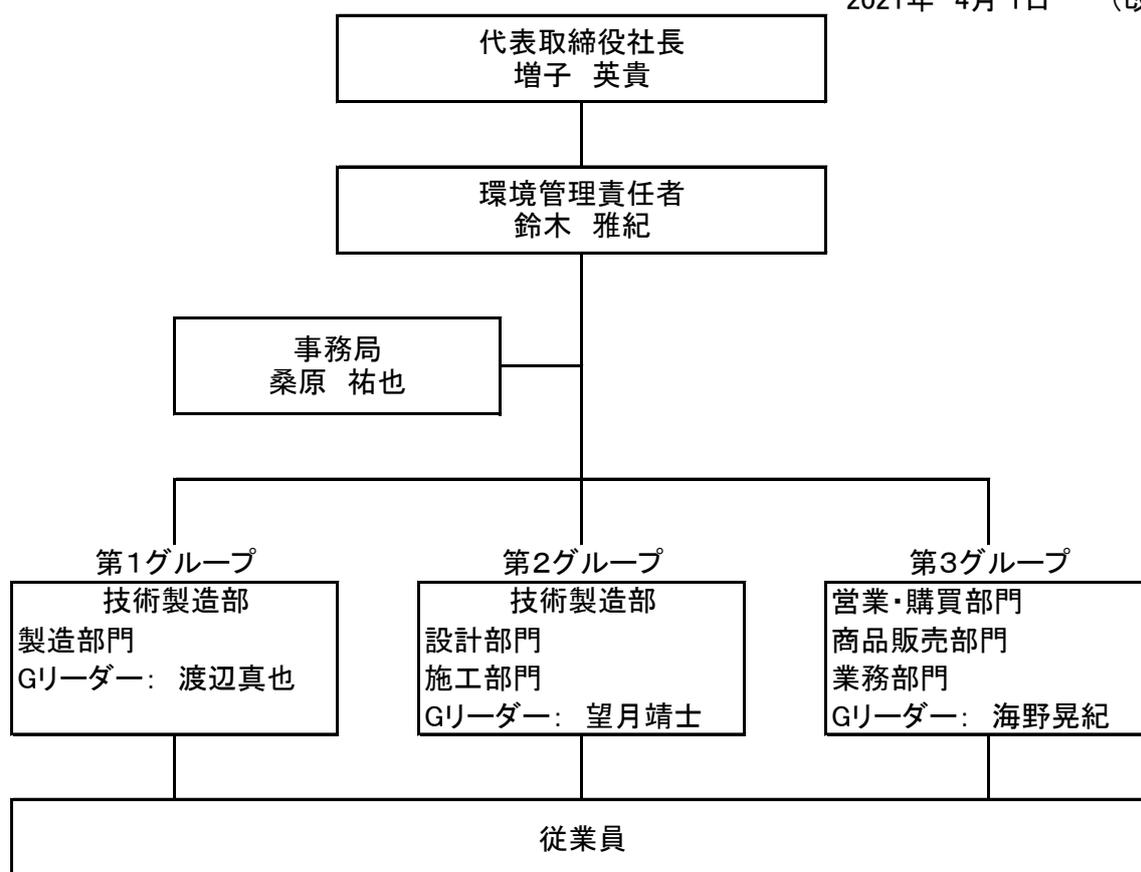
制定年月日 2014年 11月 28日 (初版)
 2022年 4月 1日 (改定)

大東スチール株式会社

代表取締役社長 増子 英貴

3. 実施体制

2014年11月28日 (制定)
2021年 4月 1日 (改定)



■関係者の権限と役割

代表取締役社長

- ① 環境経営指針の決定
- ② 環境目標の決定
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命
- ⑤ 経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

- ① 環境目標の達成・状況把握及び改善指示
- ② 取組状況の社長への報告
- ③ 環境経営システム及び環境指針の評価と見直し

事務局

- ① 情報収集及びデータ分析
- ② 問い合わせの対応
- ③ 環境経営レポート作成
- ④ 環境目標・環境活動計画の進捗管理
- ⑤ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑥ 文書・記録の管理

グループリーダー

- ① 従業員の環境活動の評価
- ② 環境目標達成に向けた取組実行の指導
- ③ 環境負荷及び取組の自己チェック実施
- ④ 法規制の遵守状況チェック

従業員

- ① 活動の推進(具体的取組の計画・対策・実施・改善・周知)
- ② 自分の推進する環境活動の状況をグループリーダーに報告

4. 環境経営目標

目標値は2013年度比 削減率とする

長期目標 CO2排出量はパリ協定に基づく

項目	単位	総量 原単	2013年度	環境経営 中期目標			環境経営 長期目標 (2030年度達成目標)		2030年度達成目標 進捗状況			
				2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標	削減率	削減率				
二酸化炭素排出量 ※1 排出量/売上高(kg-CO2/億円)	kg-CO2	総量 原単	180,485.8 16,720.0	68% 59%	57,755.5 6,909.0	82% 77%	32,487.4 3,801.6	83% 78%	30,682.6 -	総量・原単 削減率46% (SBT目標2017年度比 削減率55%)	総量・原単 達成 (SBT目標 削減率64.9%)	
エネルギー 消費	①購入電力	総量	271,573.0	50%	135,786.5	46%	146,649.4	47%	143,933.7	総量・原単 削減率46%	原単 未達	
		原単	25,158.2	35%	16,243.4	32%	17,160.6	33%	-			
	②灯油	総量	200.0	消費量ゼロ			消費量ゼロ			消費量ゼロ		冬季灯油ストーブ 使用中
		原単	18.5									
	③液化石油ガス(LPG)	総量	228.7	消費量ゼロ			消費量ゼロ			消費量ゼロ		LPGフォークリフト 1台使用中
原単		21.2										
④ガソリン	総量	6,175.0	32%	4,199.0	56%	2,717.0	57%	2,655.3	総量・原単 削減率46%	原単 未達		
	原単	572.0	12%	502.3	44%	317.9	45%	-				
⑤軽油	総量	9,773.0	24%	7,427.5	1%	9,675.3	7%	9,088.9	総量・原単 削減率46%	未達		
	原単	905.4	2%	888.5	-25%	1,132.2	1%	-				
廃棄物 総排出量(①+②) 排出量/売上高(kg/億円)	kg	総量	47,460.0	5%	45,087.0	18%	38,917.2	20%	37,968.0	総量・原単 削減率26%	未達	
		原単	4,396.6	-23%	5,393.5	-13%	4,968.2	1%	-			
①産業廃棄物排出量 排出量/売上高(kg/億円)	kg	総量	13,310.0	56%	5,856.4	56%	5,856.4	57%	5,723.3	総量・原単 削減率26%	原単 未達	
		原単	1,233.0	43%	700.6	44%	685.3	45%	-			
②金属排出量(有償) ※2 排出量/売上高(kg/億円)	kg	総量	34,150.0	-10%	30,735.0	10%	30,735.0	13%	29,710.5	総量・原単 削減率26%	未達	
		原単	3,163.6	-16%	3,676.7	-14%	3,596.6	1%	-			
廃棄物 リサイクル率 ※4 (再資源化量/廃棄物総排出量)	%	総量	99.6 (2021年度)	99%以上			99%以上			99%以上		未達
水使用量 使用量/従業員数(m³/人)	m³	総量	1,380.0	80%	276.0	80%	276.0	80%	276.0	総量・原単 削減率46%	総量・原単 達成	
		原単	33.7	78%	7.3	83%	5.9	83%	-			
化学物質使用量 ※2 購入量/売上高(kg/億円)	kg	総量	31,743.2	—			—			原単 削減率26%		未達
		原単	2,940.7	46%	1,588.0	26%	2,176.1	27%	-			
①錆止塗料(購入量)	kg	総量	27,600.0	適正管理			適正管理			適正管理		継続中
		原単	3,597.0									
		総量	546.3									
環境に配慮した経営			(2017年度) 目標値は2017年度比とする									
コピー用紙使用量 ※3 使用量/売上高(kg/億円)	kg	総量	1,791.7	19%	1,451.3	19%	1,451.3	20%	1,433.4	総量・原単 削減率26%	総量 未達	
		原単	36.3	24%	27.6	42%	21.1	44%	-			
生産性向上 ※目標値は年度経営計画に準ずる												
加工効率①(kg/人工)	%	—	部品	2%向上	他社工事	2%向上	年度経営計画に準ずる		年度経営計画に準ずる		—	
加工効率②(kg/人工)	%	—	規格製品	2%向上	在来工事	2%向上	年度経営計画に準ずる		年度経営計画に準ずる		—	
品質向上	件	—	製品クレーム	ゼロ 件	製品クレーム	ゼロ 件	年度経営計画に準ずる		年度経営計画に準ずる		—	

- ※ 1 各項目を(kg-CO2)に換算、合計を二酸化炭素排出量とする。
- ※ 2 生産高に比例し増減し、品質保証上総量の削減は難しい為、目標を原単位に限定する。
- ※ 3 過去データ保管の都合、2017年度を基準とする。
- ※ 4 2022年度より目標に追加(建設業向けガイドラインに基づく) 2021年度を基準とする。
- ※ 5 二酸化炭素排出量 2017年度 104,861.6kg-CO2
- ※ — 中期目標の原単位は年度経営目標より算出

5. 環境経営 実績値及び評価

2022年度 売上高(全体) 57.97 (億円)
 売上高(工場) 8.55 (億円)
 従業員数 (人) 40 (人)

目標：達成○
未達△

項目	単位		2022年度実績			評価	年度目標値大幅乖離の要因 (達成率131%以上・69%以下)		
			実績値	2013年度比 削減率	年度目標 達成率				
二酸化炭素排出量 ※1 排出量/売上高(kg-CO2/億円)	kg-CO2	総量	36,750.89	80%	157%	○	再エネ導入による		
		原単	4,300.52	74%	161%	○			
エネルギー消費 (購入量)	kWh	①購入電力 (排出係数下記参照)	総量	152,113.00	44%	89%	△		
		原単	17,799.99	29%	91%	△			
	l	②灯油	総量	0.00	100%	100%	△		
		原単	0.00	100%	100%	△			
	kg	③液化石油ガス(LPG)	総量	45.00	80%	0%	△		LPGリフト稼働
		原単	5.27	75%	0%	△			
	l	④ガソリン	総量	2,828.97	54%	148%	○		営業車両県内中心稼働
			原単	331.04	42%	152%	○		ハイブリッド車 導入率 75%
	l	⑤軽油	総量	11,530.27	-18%	64%	△		請負工事増加
			原単	1,349.25	-49%	66%	△		施工エリア拡大
廃棄物 総排出量(①+②) 排出量/売上高(kg/億円)	kg	総量	39,775.00	16%	113%	○			
		原単	4,654.40	-6%	116%	○			
	kg	①産業廃棄物排出量 排出量/売上高(kg/億円)	総量	8,415.00	37%	70%		△	
		原単	984.71	20%	71%	△			
kg	②金属排出量(有償) 排出量/売上高(kg/億円)	総量	31,360.00	8%	98%	△			
	原単	3,669.69	-16%	100%	○				
廃棄物 リサイクル率 (再資源化量/廃棄物総排出量)	%	総量	98.30	+0.1P	98.4%	△			
水使用量 使用量/従業員数(m ³ /人)	m ³	総量	429.00	69%	64%	△	台風15号被害による 災害復旧作業		
		原単	10.73	68%	68%	△			
化学物質使用量 ※2 購入量/売上高(kg/億円)	kg	総量	19,399.53	39%	-	-			
		原単	2,270.10	23%	70%	△			
	kg	①錆止塗料(購入量)	総量	16,940.00	-	-			
	kg	②希釈シンナー(購入量)	総量	2,254.66	-	-			
	kg	③洗浄用シンナー(購入量)	総量	204.87	-	-			
環境に配慮した経営									
コピー用紙使用量 ※3 使用量/売上高(kg/億円)	kg	総量	1,492.50	17%	97%	△			
	kg	原単	25.75	29%	107%	○			
生産性向上 ※目標値は年度経営計画に準ずる									
		加工効率①(kg/人工)	%	目標未達	-	未達	△		
		加工効率②(kg/人工)	%	目標未達	-	未達	△		
		品質向上	件	2件	-	未達	△		
※ 1	各項目を(kg-CO2)に換算、合計を二酸化炭素排出量とする。 排出係数：中部電力ミライズ 0.388、エネット 0.0(再エネ)								
※ 2	品質保証上使用量の削減は難しい、目標を原単位に限定する。								
※ 3	2017年度を基準とする。								

6. 環境関連法規等の遵守状況確認

遵守評価の結果					
適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。 また、利害関係者からの訴訟や指摘、苦情等は過去3年間ありません。					
法律・条令	遵守すべき事項	適用範囲・条件	違反訴訟	遵守状況	確認
安衛法	労働安全衛生法施行令の遵守 労働安全衛生規則の遵守	労働者が働く職場環境の形成 作業環境測定(年2回)、特殊検診(年2回) 安全衛生委員会・災害防止協議会の開催(月1回) 安全教育(随時) SDS管理(錆止塗料、シンナー)	無	○ 2023.3	望月 桑原
化管法 (PRTR法)	有害化学物質の適正管理 特定施設への届出(行政)	排出量及び移動量の把握 適用成分(エチルベンゼン・キシレン・トリメチルベンゼン)	無	○ 2023.5	石川 桑原
消防法 火災予防条例	適正な維持管理の遵守 防災計画 特定施設への届出	消火設備の定期点検(年2回) 消火訓練、避難訓練(年1回) 危険物適正保管(消防署届出 不要) 塗料、シンナー 適正保管量の管理	無	○ 2023.3	望月 渡辺
高圧ガス保安法	保安基準の遵守 特定施設への届出(行政)	液化炭酸ガス製造施設(年次点検、保安検査) 酸素ガス 常備:7m ³ (15本) 2m ³ (4本) ハイドロガス 常備:7m ³ (5本) 2m ³ (4本) アセチレンガス 常備:7.2kg(15本) 2kg(4本)	無	○ 2023.2	渡辺 桑原
廃棄物処理法 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	自らの責務において、適正な処理 保管基準、収集・処理基準の遵守 マニフェスト管理(電子マニフェスト) 特定施設への届出(行政)	事業系一般廃棄物、産業廃棄物の分別処分 保管場所の表示、飛散防止措置 委託先の許可・委託契約・現地確認(年1回) 排出量の把握及び届出(年1回) マニフェストの交付、処理状況確認(随時)	無	○ 2022.10	渡辺 桑原
フロン排出抑制法	フロン類の管理の適正化に係る措置 フロン使用機器類の適正廃棄 第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務(第41条) 適正な使用環境の維持及び確保	エアコン(10台) コンプレッサー(2台) 冷水機(1台) 3ヶ月に1回以上の頻度で簡易点検の実施 フロンを回収して廃棄する	無	○ 2023.3	桑原 海野
リサイクル法	副産物の発生抑制、リサイクルの推進	再生資源及び再生部品の利用の推進 製品の長期間使用の推進 生産工程の合理化による副産物抑制	無	○ 2023.3	渡辺 石川
家電リサイクル法	対象機器の適切な引渡し、 及び法に定める措置の協力	対象機器の処分時	無	○ 2023.3	海野 桑原
自動車リサイクル法	適切な引渡し	廃車の引渡し時(リサイクル料金の負担)	無	○ 2023.3	海野 桑原
公害防止組織法 (騒音・振動)	規制基準の遵守 特定施設への届出(行政)	機械プレス1500トン(1台) 公害防止統括者・管理者(届出)	無	○ 2023.3	渡辺 石川
騒音規制法	規制基準の遵守 特定施設への届出(行政)	機械プレス(1台)、高速切断機(2台)、ボール盤(1台) 空気圧縮機(2台)、プラスト(1台)	無	○ 2023.3	渡辺 石川
振動規制法	規制基準の遵守 特定施設への届出(行政)	機械プレス(1台)、空気圧縮機(2台)、せん断機(2台)	無	○ 2023.3	渡辺 石川
浄化槽法	適正な維持管理の遵守	法定点検、保守点検(設置 3基) 浄化槽の設置届 等(変更時)	無	○ 2023.3	海野 桑原
環境基本法、化審法、容器包装リサイクル法、建築リサイクル法、大防法・排ガス抑制法、水濁法、下水道法、悪臭防止法 土壌汚染対策法、環境影響評価法、循環社会形成推進基本法、生物多様性基本法、グリーン購入法、省エネ法			努力義務 又は 適用除外		

参考図書：環境保全ハンドブックWEB版(静岡県環境保全協会)、ISO環境法

7. 環境行動計画 (Plan Do Check Action)

	取組項目	具体的取組	取組評価			推進部門 責任者
			年度活動評価	課題	次年度行動計画	
二酸化炭素排出量	購入電力	1. 空調適正使用 2. 空調高効率化 3. 照明節約 4. 照明エリア分け 5. 待機電力削減(工場) ①適温化(27度・21度) ③クール・ウォームビズ推進 ④ライトダウン運動 ⑤省エネ設備導入 ⑥無人エリアの消灯 ⑦待機電力の削減	△	・総量△ 原単△ ・法令遵守(省エネ法) ・運用管理(周知)	・夏季デマンド コントロール ・コンプレッサ吐出圧 低減 ・クールビズ(5月～9月) ・ウォームビズ(11月～3月) ・ライトダウン(6月、7月) ・施工現場にて協力業者 への節電指導 ・空調服、冷却ベスト支給	事務所 第3G海野 工場 第1G渡辺 現場 第2G望月
	灯油・LPG	1. 暖房機器適正管理 2. フォークリフトのエコ運行 ①ストーブの消し忘れ防止 ②リフト使用時のエコ運行 ③定期的な車両点検 ④灯油、LPG使用設備廃止	△	・灯油 総量○ 原単○ 使用中△ ・LPG 総量△ 原単△ ・法令遵守(省エネ法) ・運用管理(周知不足)	・灯油ストーブ廃止 ・フォークリフト廃止 ・LPGリフト廃止準備 ・寒冷対策の検討	第1G渡辺
	ガソリン・軽油	1. エコドライブ 2. 車両点検 3. 低燃費車導入 4. 構内設備低燃費化 ①エコドライブ実施 ②AC温度・風量 適温化 ③積載物 適正化 ④車両点検 / 週 ⑤燃費確認 / 月 ⑥低燃費車導入	△	・ガソリン 総量○ 原単○ ・軽油 総量△ 原単△ ・法令遵守(省エネ法) ・運用管理(周知不足)	・軽油使用量 ・車両燃費向上 ・使用者意識向上 ・用途に応じた車両の選定 ・カーシェア運用 ・燃費向上 ガソリン車、軽油車 ・エコドライブ講習会	第2G望月
廃棄物排出量	産業廃棄物	1. 包装材の削減 2. パレット返却 3. 消耗品廃棄量削減 4. 分別廃棄 ①簡易包装推進 ②多重包装見直し ③不要パレット返却 ④消耗品廃棄基準設定 ⑤分別廃棄徹底	△	・総量△ 原単△ ・法令遵守 (廃棄物処理法) ・運用管理(周知)	・木材廃棄物削減 ・分別廃棄徹底 木製パレットの 運用改善 ・整理整頓の徹底 ・リサイクルの推進 ・現場にて協力業者 への分別廃棄指導	工場 第1G渡辺 施工現場 第2G望月
	一般廃棄物	1. 包装材削減 2. 循環資源分別回収 3. 衣類のリサイクル ①簡易包装推進 ②多重包装見直し ③紙・プラ 分別回収 ④不要な衣類(布製品)回収 ウェスとして再利用	◎	・法令遵守 (リサイクル法) ・運用管理(周知) ・分別回収 ・オフィス古紙有償化	・段ボール及び オフィス古紙の 廃棄量削減 ・ペーパーレスの推進 ・納入品の梱包方法改善 ・リサイクルの推進	第3G海野
	金属屑	1. 歩止材購入推進 2. 計画的在庫調整 3. 製作不具合削減 4. 金属屑分別回収 ①切断、孔明け材の購入 ②資材購入計画化 ③不良スクラップ削減 ④溶接棒、ワイヤ、チップ 回収	△	・総量△ 原単○ ・法令遵守 (リサイクル法) ・運用管理(周知)	・端材削減 ・在庫計画購入 ・加工不具合の低減 ・端材の少ない設計 ・在庫の適正量管理 ・一次加工管理体制の見直し	製造 第1G渡辺 設計 第2G望月
水使用量	1. 節水活動 ①使用量定期確認 (漏水、過剰使用管理)	△	・総量△ 原単△ ・法令遵守(浄化槽法) ・運用管理(周知)	・維持継続 ・浸水対策 ・維持継続 ・対策のマニュアル化	第3G海野	

※ 評価基準(実績評価、法令遵守、運用管理)
◎(成果十分) ○(成果十分ではないが、あった) △(成果不十分、今後の課題)

取組項目	具体的取組	取組評価			推進部門 責任者
		評価	課題	次年度行動計画(取組計画)	
化学物質 使用量	1. 塗装散布ロス低減 2. 排出量(購入量)把握	①散布ロスを低減 ②PRTR法遵守	△ ・原単△ ・法連遵守(化管法) ・運用管理(周知)	・塗料散布ロス改善 ・塗装ブースの見直し	第1G渡辺
環境に配慮した経営 コピー用紙	1. コピー紙購入量及び 投入量の削減	①コピー機 機能活用 ②裏紙使用 ③ペーパーレス会議 ④管理改善(紙→データ) ⑤コピー紙購入量管理 ⑥帳票類 電子運用	△ ・総量△ 原単○ ・運用管理(周知)	・ペーパーレス促進 ・意識改革 ・ペーパーレス促進 ・出図の削減 (PC上での運用検討)	第3G海野
品質向上	1. 加工効率向上 2. 品質向上	①加工ライン見直し ②ロボット再調整(治具改良) ③チェック体制再編	△ ・実績評価 部品製品 △ 規格製品 △ 品質向上 △ ・運用管理(周知)	・自主検査精度向上 ・製品管理基準周知 ・製品チェック体制 ・生産能力向上 ・社内教育 個人技量向上 ・品質チェック基準 周知 ・製品チェック体制の見直し ・生産技術向上	製造 第1G渡辺 品質管理 第2G望月
環境教育 教育	1. 地域貢献活動 2. 環境関連の知識向上 3. 環境教育の実施	①海浜清掃 ②eco検定 受験推進	△ ・海浜清掃参加 ○ 7/2、11/27 ・eco検定 受験者ゼロ △	・eco検定取得率 ・環境教育 計画 ・SDGs教育 計画 ・海浜清掃(7月、11月) ・エコ検定受験(8月・12月) ・SDGs研修会 起案	第3G海野 事務局 桑原
環境教育 訓練	1. 災害時対応訓練	・火災を想定した訓練 ・地震を想定した訓練 ・高圧ガス施設破損による 液漏れを想定した訓練	△ ・消火訓練 ○ ・避難訓練 ○ ・高圧ガス教育 △	・維持継続 ・消火訓練 ・避難訓練 ・高圧ガス施設 管理指導 ・止水板運用マニュアル周知	第2G望月 事務局 桑原
法令遵守	法令遵守状況の確認	法令、条例の改正情報の確認	◎ ・法令遵守 ○	・関係法令の見直し ・維持継続	事務局 桑原

期間中 新規に計画し実行した取組

- 1) 衣類のリサイクル 不要な衣類(布製品)を回収、ウエスとして再利用
- 2) 浸水対策 止水板導入

次年度の環境経営目標 変更あり

- 1) 削減率の見直し
中期目標の削減率を現状に沿った数値に変更。



8. 環境教育・自然保全活動及び主な活動記録

■エコ検定

受験日	従業員数(正)	取得者数	取得率
2022年度	36	23	63.9%

(2023年3月31日時点)

■環境保全活動

静岡県小さな親切運動主催
焼津市内 浜当日海岸清掃活動



2022.7.2

焼津市主催
焼津市内全域 海岸清掃活動



2022.11.27

■その他



■環境活動関連 表彰

2016年度
環境省 環境人材育成コンソーシアム主体
環境 人づくり企業大賞2016 奨励賞受賞

2022年度
持続性推進機構 エコアクション21中央事務局
感謝状 授与

過去3年間の環境活動記録

年度	主な活動内容
2022	台風15号による冠水被害(工場・事務所 床上浸水) 浸水対策(工場内擁壁施工、止水板導入) 低燃費フォークリフト4.5t導入
2021	高圧電力 再エネ導入 新型溶接ロボット導入
2020	工場レイアウト 大幅変更 新型コロナ感染症対策、在宅勤務及びWEB会議の導入

9. 代表者による全体評価

■代表者による全体評価

弊社は23年度 創立60周年を迎えます。

これまで支えていただいた取引先様をはじめ社員の皆さんを含めた全てのステークスホルダーへの感謝を忘れてはいけません。そして、「これからも、この街で。」明るい未来とともに成長し続ける会社を創っていきます。

昨年度は、止まらない材料価格の高騰・材料納期の長期化等、事業活動に厳しい状況が続きました。また、終息の見えない感染症により、生活においても窮屈な環境が続き、追い打ちを掛けるように台風15号による床上浸水被害にも見舞われ、まさに苦境の年となりました。

しかし、期初に掲げた『「技術力」「組織力」の向上を目指し 信頼される企業に成長する』と言う目標の下、高品質な製品を提供し、他社様工事の取り込みを増大。社内整備・環境改善による組織力の向上。販売品目拡充による販路拡大など、従業員が一丸となって取り組んだ結果、過去最高収益を上げる事が出来ました。

多大な損害となった浸水被害ですが、気候変動により、今後さらに増える事が予測される台風災害に対して、対策の見直しを図る機会となった事も事実です。

「BCP」策定ならびにマニュアル化を促進し、有事に迅速な対応のできる職場環境構築を進めて下さい。

代表取締役社長 増子 英貴

■見直し指示

見直し事項		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営指針	有・ 無	
2	環境経営目標	有 ・無	原単位指標を売上高に統一（水使用量以外） 目標数値の見直し（実績に則した数値）。
3	環境行動計画	有・ 無	
4	環境に関する組織	有・ 無	
5	その他（外部への対応）	有・ 無	

■関連情報

項目	確認	コメント
1 エコアクション21文書	レ	記録・文書として作成しました。
2 環境目標及び目標達成状況	レ	CO2排出量削減 順調。（大幅減）
3 環境行動計画及び取組実施状況	レ	エコドライブの指導を行い、燃費向上に努めて下さい。
4 環境関連法令要求一覧及び遵守状況	レ	記録に記載いたしました。
5 地域コミュニケーション・対応記録	レ	近隣クレーム 無し。
6 問題点の是正・予防措置の実施状況	レ	特に問題ありません。